

4. トラブルとその対応事例

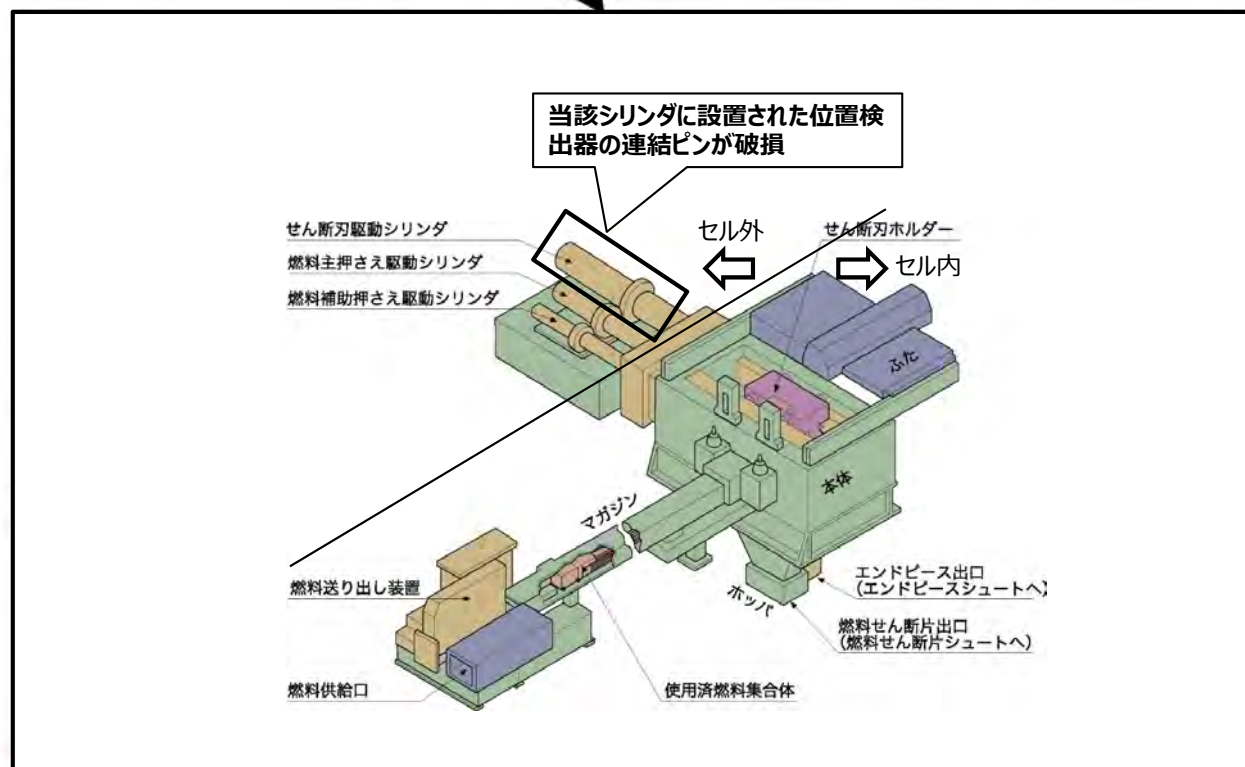
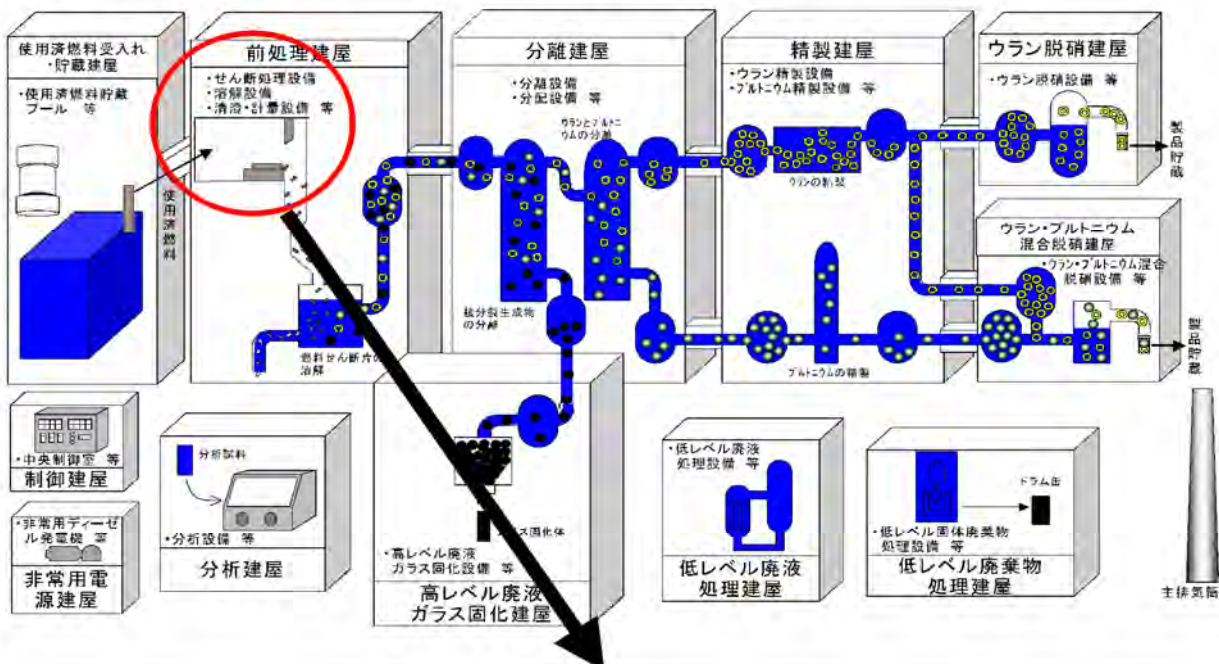
4 – 1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (g. 破損)

7-02. せん断機位置検出センサー連結ピンの破損																	
事象の概要																	
(1)発生場所：機器		前処理建屋：せん断機															
(2)設備の概要		使用済燃料を硝酸で溶解するため、燃料集合体を切断し、数 c m程度の小片にする装置。															
(3)発生の状況		せん断機の運転中															
(4)概要		せん断刃ホルダの位置検出センサーの連結ピンが破損し、位置検出器の動作不良によって自動運転時間超過の警報が発報。															
(5)原因		運転を継続する中で偶発的に発生するピンの破損。															
事象による影響																	
(1)工場外への影響		工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋換気設備が稼働している建屋内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。															
(2)安全性への影響		安全上の問題は生じない。 連結ピンの破損による自動運転時間超過の警報でせん断機を停止するため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。															
(3)作業員への影響		作業員への影響は生じない。 連結ピンの交換作業は、定められた放射線管理計画書に従って作業を進めることにより、放射線による作業員への影響は生じない。															
(4)他工程への影響		下流の工程の運転に影響が生じる。 せん断機の停止に伴い、溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋下流に設置されている一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。															
対応の概要		1. 連結ピンが破損していることを確認後、定められた保修作業手順に従って連結ピンを交換する。 2. 定められた操作手順に従って運転を再開する。															
公表区分		毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）															
連絡区分*		<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>				トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

消耗品の交換により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

影響の範囲の設備を停止して復旧

